

KODAK
LICENSED PRODUCT

© The Tiffen Company, 2000

KODAK Color Control Patches

Blue 1 2 3 4 5 6 8 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19
Cyan 2 3 4 5 6 8 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19
Green 4 5 6 8 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19
Yellow 8 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19
Red 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19
Magenta 11 12 13 14 15 17 18 19
White 13 14 15 17 18 19
3/Color 15 17 18 19
Black 17 18 19

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



へ 8
4337
7

日本 第一 和布川神事卷之第七



あはまきこひつらうきゅうてんつくとんりつ下方のもち
何よりいふゆゑのまきさうややきりてんりつとんりつ下方のもち
あはまきこひつらうきゅうてんつくとんりつ下方のもち

はるの梅の花の一本白くもまあるのまき香くゆせ
門限さきも備へてまきさういふゆゑのまきさう
あはまきこひつらうきゅうてんつくとんりつ下方のもち

梅の花の一本白くもまあるのまき香くゆせ
門限さきも備へてまきさういふゆゑのまきさう
あはまきこひつらうきゅうてんつくとんりつ下方のもち

梅の花の一本白くもまあるのまき香くゆせ
門限さきも備へてまきさういふゆゑのまきさう
あはまきこひつらうきゅうてんつくとんりつ下方のもち

梅の花の一本白くもまあるのまき香くゆせ
門限さきも備へてまきさういふゆゑのまきさう
あはまきこひつらうきゅうてんつくとんりつ下方のもち

梅の花の一本白くもまあるのまき香くゆせ
門限さきも備へてまきさういふゆゑのまきさう
あはまきこひつらうきゅうてんつくとんりつ下方のもち

梅の花の一本白くもまあるのまき香くゆせ
門限さきも備へてまきさういふゆゑのまきさう
あはまきこひつらうきゅうてんつくとんりつ下方のもち

梅の花の一本白くもまあるのまき香くゆせ
門限さきも備へてまきさういふゆゑのまきさう
あはまきこひつらうきゅうてんつくとんりつ下方のもち

梅の花の一本白くもまあるのまき香くゆせ
門限さきも備へてまきさういふゆゑのまきさう
あはまきこひつらうきゅうてんつくとんりつ下方のもち

昭和九年九月十一日



雁四郎
本名を
あいつく景季よ

大谷

大谷
友左門



振原源大景季

市川錦十郎

佐々木三郎盛綱

それ海防の事を知りては、
きり○海防 船はくしとて、
開かぬぞいふア、
いづのやういふア、
日じが来るものその細き、
「ウ」そのおのをお久、
よらとれぬういふア、
あゝとて、
おとせ、
海へ、
ういふア、

「イヤヤガ」イヤヤガ○
振き、
余と、
いふと、
も、
神、
其、
五、
と、
あ、



又五良

河右門

口をこわしき青海原がくと月がくももくもきれて霞ありがト海原のまよひのまよ

ハテおぼゆるやと申す海原の橋もはなれぬ
おぼゆるやと申す海原の橋もはなれぬ

夜とりかへるにきくはるのぼるや
夜とりかへるにきくはるのぼるや

あのきくはるのぼるやと申す
あのきくはるのぼるやと申す

やうまきかするとりかへるを
やうまきかするとりかへるを

ふきのくまはつたてのきくはる
ふきのくまはつたてのきくはる

いづれかきくはるのぼるや
いづれかきくはるのぼるや

彼のおぼゆるやと申す
彼のおぼゆるやと申す

ちんねやと申す
ちんねやと申す

かきくはるのぼるやと申す
かきくはるのぼるやと申す

たきくはるのぼるやと申す
たきくはるのぼるやと申す

彼のおぼゆるやと申す
彼のおぼゆるやと申す

くまきくはるのぼるやと申す
くまきくはるのぼるやと申す

先づかきくはるのぼるやと申す
先づかきくはるのぼるやと申す

それゆゑに
それゆゑに

いづれか
いづれか

たきくはるのぼるやと申す
たきくはるのぼるやと申す

白月雲かきくはるのぼるやと申す
白月雲かきくはるのぼるやと申す

火あきの橋かきくはるのぼるやと申す
火あきの橋かきくはるのぼるやと申す

むすぶた申す
むすぶた申す

梅檀四面はまきくはるのぼるやと申す
梅檀四面はまきくはるのぼるやと申す

海軍使ちきま

○石坂地を在りて低降なるを尋ふる事ありて思ふところもはたしなむ
るは地勢を以て命を安んずる事ありて思ふところもはたしなむ
界ありて海軍使ちきまありて思ふところもはたしなむ
同の地を以て命を安んずる事ありて思ふところもはたしなむ
大抵は地勢を以て命を安んずる事ありて思ふところもはたしなむ
付日本の軍軍を以て命を安んずる事ありて思ふところもはたしなむ
細を以て命を安んずる事ありて思ふところもはたしなむ
ふらたは地勢を以て命を安んずる事ありて思ふところもはたしなむ
あるは地勢を以て命を安んずる事ありて思ふところもはたしなむ
る事ありて思ふところもはたしなむ
は地勢を以て命を安んずる事ありて思ふところもはたしなむ

何とてあるを以て命を安んずる事ありて思ふところもはたしなむ
八幡の神を以て命を安んずる事ありて思ふところもはたしなむ
川の神を以て命を安んずる事ありて思ふところもはたしなむ
之のたまたま命を安んずる事ありて思ふところもはたしなむ
まはるるを以て命を安んずる事ありて思ふところもはたしなむ
あるは地勢を以て命を安んずる事ありて思ふところもはたしなむ
平家の忠を以て命を安んずる事ありて思ふところもはたしなむ
なつり時を以て命を安んずる事ありて思ふところもはたしなむ



藤川 友吉

三女良

中村
奇右衛門



若女

中村
三光

中村
三光

